

緑風

平成21年9月15日発行

200973
初秋号

《特集》 指定管理者制度と県造園業界の動向
平成22年度栃木県造園高等技術学校入校生募集のご案内



【栃木県造園建設業協同組合が指定管理者となった栃木県中央公園の秋】

聴えますか緑のシンフォニー



社団法人 栃木県造園建設業協会

表紙写真／栃木県造園建設業協同組合が指定管理者となった栃木県中央公園の秋

《特集》指定管理者制度と県造園業界の動向…	1
(1)栃木県中央公園……………	2
(2)栃木県民ゴルフ場……………	4
(3)宇都宮市営北山霊園……………	5
(4)日光市上三依水生植物園……………	6
～斎藤文夫日光市長ら開園20年を祝う式典～	
磯一己氏（真岡市・株式会社磯造園土木）が 知事表彰に輝く……………	8
平成21年度造園技能検定実施される……………	9
協会5委員会の新メンバー決まる……………	10
最近の動き・事務局だより……………	10
平成22年度造園学校入校生募集のご案内……………	11
会員名簿……………	12

連載/造園協会の歴史と展望

第28回 組合初の指定管理受託『北山霊園』

栃木県造園建設業協同組合（清水孝真理事長）は、平成18年4月1日、地方自治法に基づく指定管理者制度導入に伴い、宇都宮市営北山霊園の指定管理者に指定された。組合では、指定管理受託のための準備班「企画開発チーム」を組織して精力的に取り組んできたが、組合初となるこの受託によって業界の新しい指針となった。

組合では、所長に蓮実重征氏を起用、3名の専従職員を配置して管理運営に当たった。また、組合理事らで構成する「北山霊園管理運営委員会」を組織して毎月1回、運営状況や管理面での問題点などが協議されることになった。

受託当初、清水理事長は「市との連携を密にして利用者のサービス向上に努力したい。また、運営面では民間業者ならではのサービス事業が求められている」と話していたが、蓮実所長はじめ管理職員の努力もあって、3年間の指定管理期間を終え、平成21年4月1日からは2期目（5年間）の受託を成功させた。

この受託は、県造園業界の歴史で大きな一節となり、以後、数々の指定管理受託へと発展する礎となった。

【特集】

指定管理者制度と県造園業界の動向

～行財政改革・公共工事激減下で「仕事」と「雇用」の確保図る～

指定管理者制度は、公園や市民会館など地方自治体が持つ公共施設の管理運営を民間に開放する制度で、2003年9月に施行された改正自治法で導入された。これまで自治体や自治体出資の財団に限られていた公共施設の運営管理に民間企業はじめ、NPO（非営利組織）や市民団体が参入できるようになった。「官から民へ」の市場化テスト導入を試みる国が本制度をその地方版と位置付ける見方もあるが、利用者サービスの向上と経費削減が最大の目的だ。いったん「受託」しても、多くは3～5年で指定期間が更新され、管理者の入れ替えもあり得る。小泉改革の一環で導入された制度だが、先々の不安定さを常に抱えていて、政局・自治体・施設の性格等を見極めることが重要になる。

公共工事の激減によって厳しい経営環境に立たされ続ける県造園業界は、「仕事」と「雇用」

確保のためにこの指定管理者制度に新たな活路を見出すべく参入を試みた。

平成17年7月に社団法人日本造園建設業協会から講師を招いて「指定管理者制度講習会」を開き、事業計画書に盛り込む内容や選定評価のポイントなどを勉強する一方、栃木県造園建設業協同組合（清水孝眞理事長）に「企画開発チーム」を結成、各種公募施設の調査をはじめ、一次・二次審査の提出書類の作成やプレゼンテーションのテストなど「指定管理受託」に向けて業界一丸となって突き進んだ。

2006（平18）年4月1日、宇都宮市営北山霊園の指定管理（3年間）を業界として初めて受託。

2007（平19）年3月29日、宇都宮市農林公園ろまんちっく村は、高い評価を得ながらも最終選考で次点となり、惜しくも受託できなかった。最終選考4社に残ったものの、飲食や物販事業での実績不足が経営改善面でのマイナスポイントとなった。

2008（平20）年4月1日、日光市上三依水生植物園の指定管理（3年間）を受託、4月15日にテープカットで開園を祝った。

2009（平21）年4月1日、栃木県中央公園の指定管理（5年間）を受託。県営で初の受託となった。

2009（平21）年4月1日、同じく県営の栃木県民ゴルフ場の指定管理（5年間）を受託。ゴルフ場経営破綻が続く中での受託。異業種とも言えるサービス業の受託となったが、管理能力と経営努力によって最善の運営管理体制を整えた。

2009（平21）年4月1日、宇都宮市営北山霊園の第1期3年間の指定管理期間が終了し、2期目（5年間）の受託に成功した。

▼『受託』までには各項目を満たす綿密な企画力と努力が必要で、社会的実績や信用も求められる。下表は高い評価を得ながらも次点となった「宇都宮市農林公園ろまんちっく村」の最終審査結果（経営改善面での得点差が影響した）

「宇都宮市農林公園ろまんちっく村管理運営に関する提案競技審査委員会」の審査結果
(平成19年3月29日)

農林公園ろまんちっく村については、平成18年8月から提案競技を実施し、最優秀提案者の選定を行ってまいりましたが、今回、農林公園ろまんちっく村管理運営に関する提案競技審査委員会から下表のとおり審査結果が報告されました。

・提案団体数：4団体

提案者	(株)シミズアウト 創クリン工房 関東農園	A	B	C
1. 経営改善 (100点)	74.87	43.44	41.16	32.58
2. サービス水準 (50点)	35.15	28.01	23.43	27.44
3. 農林公園の機能の充実・強化 (100点)	56.59	45.17	39.73	42.31
4. 将来に渡る宇都宮市の財政負担の削減 (100点)	60.58	59.15	28.86	54.86
5. 三セク社員の再雇用 (40点)	26.29	24.00	19.43	10.29
6. 安定した経営能力の確保 (70点)	51.73	35.15	30.87	23.44
7. 地域連携策 (40点)	34.29	27.43	24.00	14.86
得点 (500点満点)	339.50	262.35	207.48	205.78
得点順位	1位	2位	3位	4位
選定結果	最優秀提案者として選定			

※基準得点300点（500点満点の60%）以上

現在、4施設の指定管理者となっている県造園業界だが、その歴史は古く、1969（昭44）年栃木県造園建設業協会を発足。1974（昭49）年県の許可を得て社団法人として正式発足。1975（昭50）年3月31日社団法人登記。1976（昭51）年職業訓練法人栃木県造園高等技術学校を設立。1977（昭52）年7月8日造園学校運営会発足。1993（平5）年1月栃木県造園建設業協同組合が発足。

協同組合は、公益法人のためその活動範囲に限界がある協会を補佐するものとして協会会員

を中心として設立され、公共事業などの共同受注・資材等の共同購入などの道が開け収益事業の展開による会員企業間の協調体制が確立された。2000（平12）年に本県で開催された全国都市緑化とちぎフェアでは、壬生会場・宇都宮会場の管理を一括受注して同フェアを成功に導いた実績がある。今回の指定管理受託事業は、県造園業界にとって新たな歴史の幕開けともなる。

ここで、県造園業界（栃木県造園建設業協同組合）が指定管理者となっている4施設を紹介しておこう。

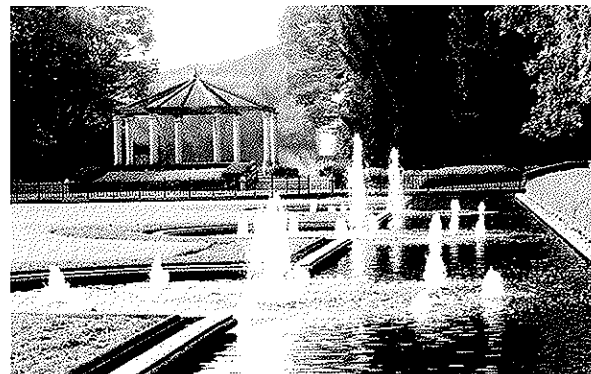
〔1〕 栃木県中央公園（指定管理期間／平成21年4月1日～平成26年3月31日の5年間）

栃木県中央公園は、宇都宮市街地の工場跡地を取得し、本県の主要文化施設である県立博物館と併せて公園整備を行ったもので、「水と緑と文化」をテーマに、4つの池を中心とした和洋折衷の廻遊式庭園風に構成されており、入口正面に洋風の沈床園、左奥に日本庭園と「むつび池」を配し、その間を「昭和大池」で結び、「面影池」と共に博物館との調和が図られている。

昭和大池畔の「記念広場」には日時計モニュメントが設置され、中央広場・子ども広場・芝生広場・野点広場・面影広場、さらにロックガーデンが配置されており、防災公園としての機能も併せ持っている。また、「緑の相談所」が設けられ、花と緑の展示会を開催するなど県民に広く利用されており、早朝の園内は散歩する市

民で賑やかだ。正門から沈床園脇のユリノキ並木を抜け、旧宇都宮商工会議所の建物を見ながら昭和大池沿いを進むと日本庭園、むつび池。さらに博物館前の芝生広場を横切り、面影池やロックガーデンを経て「緑の相談所」前の雑木林を「八角パーゴラ」のある中央広場に出て、再び沈床園に戻って正面に到着。ゆっくり歩いても小一時間の散策路である。親子連れや年配のご夫婦にも人気の散歩コースとなっている。

同公園は、昭和52年夏、北海道“有珠山”が噴火した年に着工。5年間の工事期間を経て、1978（昭53）年10月22日、開園した。昭和天皇の皇位50周年記念事業として計画された都市公園で、県営公園でありながら大型の公庫補助事業でもあった。中央の大手建設業者を中心とした受注競争はすさまじいものがあったようだが、



▲早朝から散歩する市民が多く、栃木県を代表する美しい公園（右写真は沈床園から望む記念広場）

▼清水理事長から辞令を受ける若林所長ら職員



県内造園業界が一丸となってこの工事を受注することができ、池の基礎・防水と駐車場舗装工事以外はすべて県内造園業者の施工によって完成された。まさに栃木県の造園技術を総結集して完成された公園でもある。1983（昭58）年5月26日、中央公園日本庭園工事が全国優良工事表彰（最優秀建設大臣賞）を受賞した。

この4月1日より5年間、同公園の指定管理者となった栃木県造園建設業協同組合・清水孝眞理事長は、「県造園業界の総力を結集して完成した同公園の指定管理受託には万感の思いがある。先輩の築いてくれた結束力で、県民に愛され、親しまれ、全国に誇れる都市公園を目指したい」と、意欲的だ。

若林秀世同公園管理事務所長は、「職員、嘱託、臨時職員合わせて10名程度で管理することになるが、高梨会長（県造園建設業協会）のご指摘どおり、園内のトイレ清掃の徹底を図りたい。県民の皆さまに愛され、親しまれる公園の第一歩と考えている」と、所長就任の抱負を話した。

また、「緑の相談所」では、「緑の相談員」として、青山彦、久地井恵美両氏が担当する。

同公園管理事務所（指定管理者／栃木県造園建設業協同組合）は、〒320-0865 栃木県宇都宮市睦町2-50 TEL.028-636-1491 FAX.028-638-5966 URL <http://www.t-chuokoen.jp>

交通は、JR宇都宮駅から桜通り経由鶴田駅行き、または西川田駅行きバスで約15分「中央公園博物館前」下車。東武宇都宮駅から同バス乗車。東北自動車道鹿沼インターから約7キ

▼4月1日の引継式で記念撮影の関係者・来賓



ロ、宇都宮インターから約9キロ。

【緑の相談所】

緑の相談所では、植物に関する相談、展示、講座などを行っています。植物の栽培方法、病虫害の防除、植物の名前や特徴など植物に関するいろいろな相談にお答えしています。ご相談は、直接お越しいただくほか、お手紙や電話での相談も受け付けております。お気軽にご相談ください。また、山野草や盆栽などの展示、みどりに関する写真展や作品展などの催し物も盛況です。公園の散歩から足をのぼして、ぜひお楽しみください。講座では、みどりに親しんでいただくために、手軽な作品づくりから本格的な植物の手入れまで幅広い内容となっています。お気軽にご参加ください。◆AM9:00～PM4:30 ◆火曜定休◆お問い合わせ ☎028-636-7621



地域の活性化に一役

所長 若林 秀世

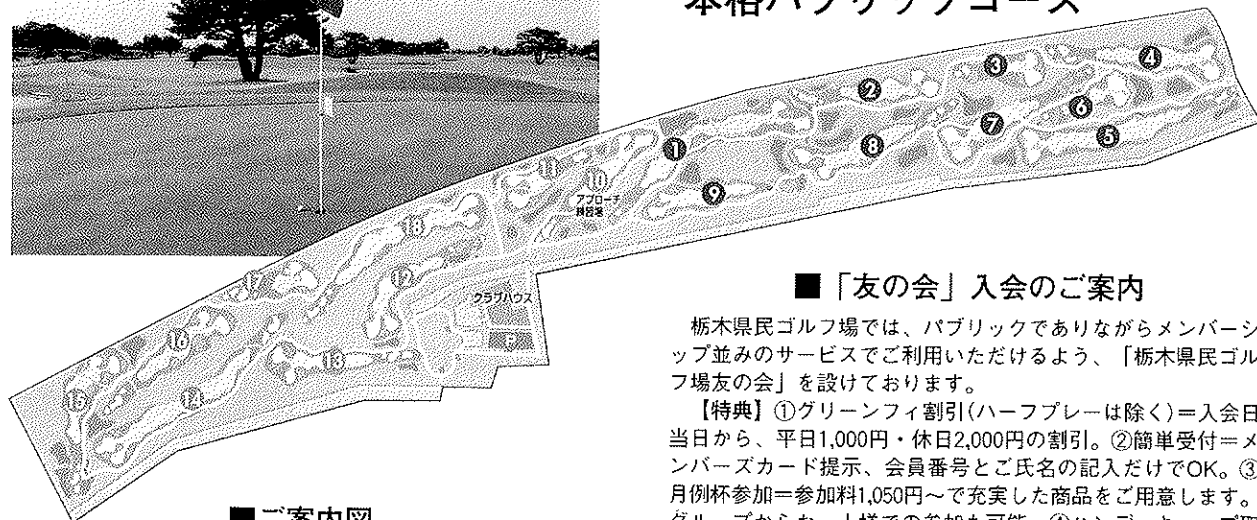
当公園は栃木県を代表する美しい公園です。特に、昭和
大池をはじめ、正門前の沈床園、県立博物館前の
面影池、日本庭園のあるむつび池など水とみどりの調和が見事です。みどりの管理はもちろんですが、水の管理にも気を配っております。また、「朝市」など独自の企画を推進して、地域の活性化にも取り組む考えです。



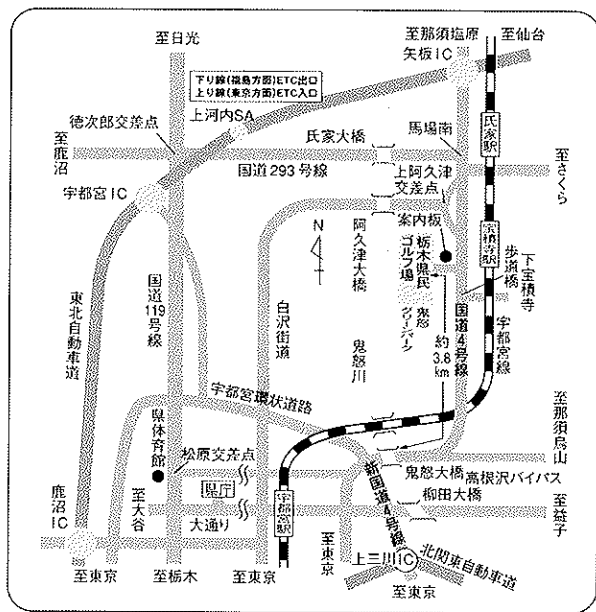
〔2〕 栃木県民ゴルフ場 (指定管理期間/平成21年4月1日～平成26年3月31日の5年間)



18Hole 6,609Yards Par72
本格パブリックコース



■ご案内図



- 電車ご利用の場合
 - ・JR宇都宮線で宝積寺駅下車。タクシーご利用の場合、約5分。
 - ・宇都宮駅東口からタクシーご利用の場合、約20分。
- 車ご利用の場合
 - ・東北自動車道宇都宮IC・上河内SA・矢板ICからそれぞれ約30分。
 - ・北関東自動車道上三川ICから約30分。

■「友の会」入会のご案内

栃木県民ゴルフ場では、パブリックでありながらメンバーシップ並みのサービスをご利用いただけるよう、「栃木県民ゴルフ場友の会」を設けております。

【特典】①グリーンフィ割引(ハーブプレーは除く)＝入会日当日から、平日1,000円・休日2,000円の割引。②簡単受付＝メンバーズカード提示、会員番号とご氏名の記入だけでOK。③月例杯参加＝参加料1,050円～で充実した商品をご用意します。グループからお一人様での参加も可能。④ハンディキャップ取得＝当ゴルフ場主催の大会に3回ご参加いただきますと、ハンディキャップが取得できます。⑤会報案内＝大会や新規サービスの情報等をお知らせいたします。

【手続】①フロントで申込書にご記入、年会費を納めていただきます。②メンバーズカードを即日発行いたします。③有効期間は入会当日から、1年後の同月末日まで。年会費3,000円。

この4月1日から5年間の管理・運営を受託した組合は、和田靖支配人、宇野義大副支配人らスタッフ20名に加えて、五月女和夫副理事長を担当理事に据え、造園業界では唯一の異業種とも言えるゴルフ場経営に本腰を入れた。

五月女副理事長は、「県民に愛されるゴルフ場として、5年後、10年後の姿を今から意識しておくべき」と、長期的視野に立った運営方針を示し、県内随一のパブリックコースを目指す。

質の高いサービスが目標

支配人 和田 靖



“県民に愛され、親しまれる本格パブリックコース”目指して、質の高いサービスを目指して、質の高いサービスを目指してスタッフ一丸となって努力したい。民間ならではの高品質のサービスとはいったい何か、毎日スタッフと一緒に悩んで、考え続けています。具体的に言うのは難しいのですが、お客様の気持ちになること、真心を込めることを心がけています。



Kenmin Golf Course

栃木県民ゴルフ場

〒329-1233 栃木県塩谷郡高根沢町大字宝積寺字上川原828

TEL.028-675-7222

FAX.028-675-7213

URL.http://www.kenmingolf.jp

〔3〕宇都宮市営北山霊園（指定管理期間／平成21年4月1日～平成26年3月31日の5年間）

県造園業界で組織する栃木県造園建設業協同組合（県内88社）が指定管理受注のための準備班「企画開発チーム」（菊池清孝チームリーダー）を結成して初めて受注したのがこの北山霊園だ。この受託によって、県造園業界に『管理・運営』という新しい分野が確立された。

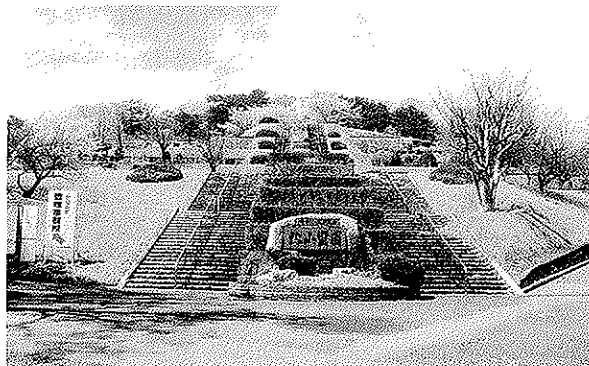
2006（平18）年4月1日、宇都宮市から運営を引き継いだ清水理事長は、「市との連携を密にして利用者のサービス向上に努めたい。また、運営面では民間業者ならではのサービス事業も求められている。先輩の築いてくれた県造園業界のこれまでの実績と団結力で“指定管理者”という新しい分野に挑戦したい」と話していた。

翌2007（平19）年7月には、宇都宮市の指定管理者88施設の管理運営状況がまとめられ、北山霊園は管理運営評価“S（期待以上）”を得た。市行政経営課によると、墓地の清掃や参拝の代行など少数精鋭（職員3名）ながら積極的

な姿勢がA評価を上回ったとされる。

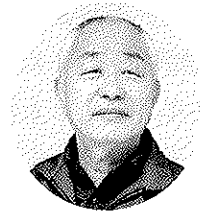
指定管理受注を目的に結成された企画開発チームは、毎日深夜まで資料作成やプレゼンテーションのテストを積み重ねてレベルアップを図ってきたが、北山霊園の“受託”と“S評価”によって県造園業界の新たな指針が示されたことになる。

2009（平21）年4月1日から、さらに5年間の指定管理者となった組合では、このあと、「日光市上三依水生植物園」「栃木県中央公園」「栃木県民ゴルフ場」の指定管理を受託。毎月初めには、4施設の責任者と組合の担当理事が「合同会議」を開いて、各施設の管理状況が報告され、今後の運営姿勢を確認している。



職員の「汗」に感謝

所長 蓮実 重征



県造園業界が初めて指定管理者となった施設がこの北山

霊園で、仮設トイレの設置や危険な側溝の改修、さらに急勾配法面の除草など難問が山積みでした。現在は3年間の管理期間を無事に終え、この4月から新たに5年間の管理を受託したわけですが、黙々と働いてくれる職員の努力と汗に感謝する毎日です。無事は汗の賜ですね。

《指定管理施設》

宇都宮市営北山霊園
日光市上三依水生植物園
栃木県中央公園
栃木県民ゴルフ場

栃木県造園建設業協同組合

理事長 清水 孝眞

副理事長 五月女 和夫 床井 光雄 齋藤 健寿

〒329-0924 栃木県宇都宮市下栗1丁目11-3
TEL.028-633-5646 FAX.028-632-8030

〔4〕日光市上三依水生植物園 (指定管理期間/平成20年4月1日～平成23年3月31日の3年間)



“ヒマラヤの青いケシ”はじめ、ニッコウキスゲ、ミズバショウ、コマクサ、シラネアオイなど貴重な高山植物が揃う同園は、1990(平2)年6月29日の開園から20年目を迎えた。

組合では、これを記念して6月21日、斎藤文夫日光市長、大垣守来園者代表、山口勇上三依自治会長、柳幸廣造園協会副会長、染宮正造園学校運営会長らを来賓に迎え記念式典を催した。

昨年4月1日から指定管理2年目に入った組合では、同園を世界に誇る『日光』ブランドの一部として位置付け、学術的にも価値のある水生植物園を目指して管理運営している。

昨年4月のオープン時には、ポスターの配布や近隣の散策マップを作成、入園割引券の活用など積極的な運営を展開。12月～3月の冬期休園期間には植物の冬越し作業や園路の修復など施設の充実を図る一方、日光市と福島県の会津若松市などが一堂に会した「日光～会津観光連



▲早朝から園内の手入れに余念のない藤川園長

斎藤文夫日光市長ら 開園20年を祝う式典

～6月21日、上三依水生植物園～

◀同園のシンボル「ヒマラヤの青いケシ」

携サミット」に参加して、県境を越えた観光誘致活動に併せて来園者の確保に努力している。

式典で斎藤市長は、「開園20年目を迎えた同園は、貴重な水生植物園として親しまれてきたが、県境の上三依地区の地域活性化にも重要な位置にある植物園です。指定管理者となった同組合と地域の皆さんと共に魅力ある植物園に育てていきましょう」と祝辞。

清水理事長は、「受託1年目の昨年の来園者数は約25,000人で前年比8割増を記録しましたが、今年は4月15日開園以来、今日で約15,000人(6月21日現在)です。日光市はじめ、上三依地区の皆さまと共に職員一丸となって努力していく所存です」とあいさつ。

この日、来場者15,000人目となった人見由雄・宏子夫妻(大田原市)に記念品が贈られ、斎藤市長ら式典参加者約50名が、園内にニッコウキスゲを記念植栽した。



▲高山植物の代表格・コマクサ(紅花)



▲斎藤日光市長(左)と記念植栽する人見さん夫妻



▲左より清水理事長、人見さん夫妻、斎藤日光市長、藤川園長



▲式典を盛り上げた富士見子どもおはやし会の皆さん

〔周辺の見どころ／味めぐり〕

同園は旧会津西街道に面して、上三依野仏群や馬頭観音が目立ち、当時の往来を偲ばせる。また、同園入り口の七滝は、滝が七段になっていてその清流に心も洗われる。園内の熊野神社の大いちょう（推定樹齢300年）や徒歩5分のところに天然記念物の観音堂大イチョウも見学できる。園内・熊野堂の大サワラも圧巻だ。また、三依地区はそばの名店も多く、「みよりそば街道」では自慢の味が楽しめる。悲運・三依姫伝説に涙しながら121号線を北上するのもよい。



▲来園者を代表してあいさつする大垣守さん



▲斎藤日光市長を囲んで記念撮影の参加者

〔9月～11月開花予定の花〕

トラノオ、シュウメイギク、ダンギク
コガマ（実）、シオン、アサザ
タカネマツムシソウ、ハマナス
アメリカフヨウ、オヤマリンドウ
ブルーベリー、コウホネ、紅葉

※開花については同園にご確認の上、ご来園ください。☎0288-79-0377



日光ブランドに一役

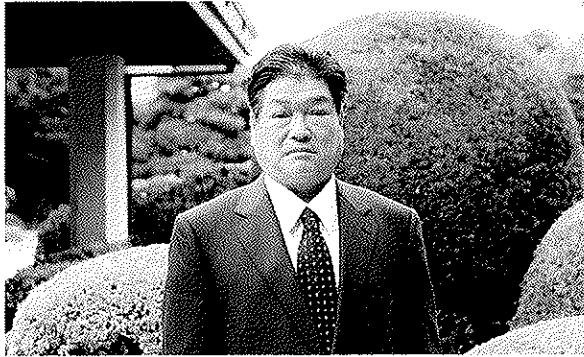
園長 藤川 徹

世界に誇る日光の自然遺産
・文化遺産の一部に同園を位

置付けて学術的にも価値のある水生植物園を目指しています。ぜひ、ご来園いただいて貴重な植物をご堪能ください。今年の開園は11月30日まで。休園は9月～11月は毎週水曜日（祝日は開園）。入園時間は午前9時～午後4時30分。入園料は大人500円(9/1～11/30は300円)、小・中学生150円、小学生未満は無料。団体割引もご利用ください。問い合わせは☎0288-79-0377。

磯一己氏(真岡市(株)磯造園土木)が知事表彰に輝く

～平成21年度栃木県建設事業関係功労者として/7月17日、県公館～



平成21年度国土交通Dayにちなみ、社団法人栃木県造園建設業協会副会長で職業訓練法人栃木県造園高等技術学校運営会理事の磯一己氏(真岡市・株式会社磯造園土木)が7月17日、県公館において『栃木県建設事業関係功労者』として知事表彰された。

この表彰は、建設事業の発展・向上に資することを目的に毎年度知事表彰されるもので、今年度は建設事業関係功労者8名、優良建設工事業者35社が受表彰した。

磯氏は昭和24年11月21日生まれ、59歳。昭和43年県立真岡農業高校を卒業後は家業の農業に従事。昭和46年春から同市内の小松園で造園業を2年間学び、昭和52年4月に有限会社磯造園土木を設立、代表取締役役に就任。

昭和48年独立当初は、「つくば科学万博85」の開催準備で会場整備が盛んに進められていてこの造成工事に参加。公共工事を積極的に受注して会社設立のきっかけとなった。



▲各受彰者の功労をねぎらう福田知事

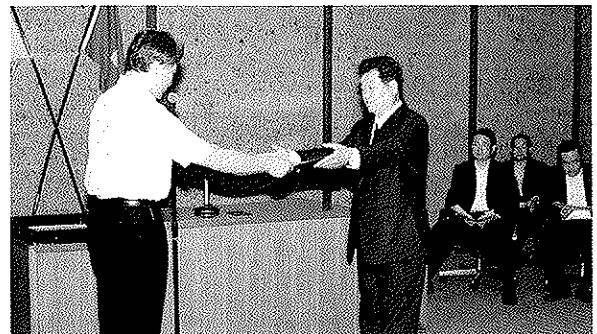
また、折からのゴルフ場建設ブーム等によって北海道から九州まで全国的に工事受注範囲を拡大し、平成元年には株式会社磯造園土木に組織を変更、発展させた。

平成16年12月、造園工事等の組織を管理するシステム運営が良好と認められ、ISO9001・2000に認定された。このISO取得は、県内造園業界では先駆的取り組みとなった。さらに、平成20年には建設業法に基づく特定建設業の許可を受け、現在に至っている。

井頭公園、日光だいや川公園、とちぎわんぱく公園等、県内大規模公園等多くの公共工事を手がけ、北関東自動車道路の造園工事では、地域から早期に供用を開始してもらいたいとの要望に沿って工期を3ヶ月以上も短縮した経験もある。また、同真岡インターチェンジ周辺の開発工事(土地区画整備地区内緑地帯整備工事)では、雑木林を工業団地として開発するため、立ち木の大量伐採による小鳥や野生動物の生態系が危惧された。同氏は植栽計画の一部の変更を提案し、動植物の環境保全に努めた。

平成19年度栃木県建設雇用改善推進大会では、栃木県建設業協会会長表彰を受けている。

平成3年5月から栃木県造園建設業協会理事を務め、現在、副会長。平成11年から真岡市建設業協会理事。平成13年から真岡市造園業協会会長。平成18年から芳賀緑化協同組合理事長。



▲福田知事(左)より表彰される磯氏

■平成21年度 造園技能検定実施される

～ 8月17～18日 鹿沼地域職業訓練センターで実技試験～

平成21年度の造園技能検定は、1級の受検者数が15名、2級21名、3級18名で実施され、昨年度比40%近い受検者増となった。1・2級の実技試験が8月18、19日の両日、鹿沼市の鹿沼地域職業訓練センターで、3級は7月29日、県立小山北桜高校でそれぞれ行われた。

青山昭平検定委員長は、「造園技能検定資格は日本の伝統文化を継承する意味でもたいへん立派な資格で、造園技能士の社会的評価もやっと思直されつつある。今年度の受検者がこれほど多くなったことは、造園技能士の社会的地位向上にもつながる」と、話す。

また、安野貞雄副委員長は、「審査基準が厳しくなってきた、合格するのはたいへん。しかし、その厳しい基準をクリアしてはじめて、造園技能士の資格も社会的に評価されるもの。自らの知識と技能のレベルアップを図ってもらいたい」と、受検者の心構えを強調する。

1・2級の合格発表は10月2日で、3級は8



▲1級検定に取り組む受検者



▲2級検定に取り組む受検者

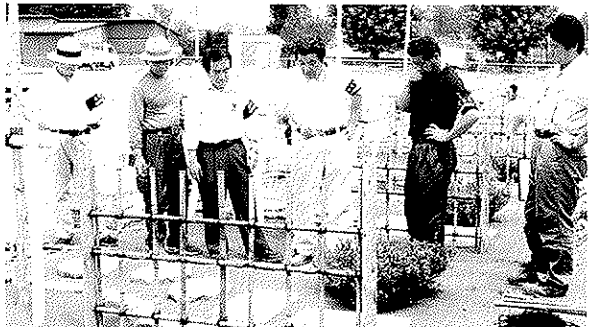
月28日に発表された。

【検定委員／8名】青山昭平、安野貞雄、高梨堯爾、五月女和夫、市村二三朝、金子賢、外丸実、野口正樹。

【補佐員／8名】五月女茂司、池田幸司、齋藤隆、岩崎武、福田栄一、香山昭、福田智典、岡田銀司。

■平成21年度造園技能検定

1. 受検者数 ◇1級 15名
◇2級 21名
◇3級 18名
2. 問題の公表 ◇1・2・3級 6月1日(月)
3. 実技試験日 ◇1・2級 (会場：鹿沼地域職業訓練センター)
8月17日(月) 準備
8月18日(火) 1日目
8月19日(水) 2日目
◇3級 (会場：栃木県立小山北桜高等学校)
7月28日(火) 準備
7月29日(水) 本検
4. 要素試験日 ◇1・2・3級 (会場：栃木県立小山北桜高等学校)
7月30日(木) 準備
3級
1・2級
5. 学科試験日 ◇1・2級 8月23日(日)
◇3級 7月26日(日)
6. 合格発表 10月2日(金) 1・2級
8月28日(金) 3級



▲審査を進める安野副委員長ら検定員

■協会5委員会の新メンバー決まる



■最近の動き／事務局だより

《6月》

- 21日 日光市上三依水生植物園開園20年式典
- 27日 青年部総会
- 28日 同窓会総会・研修会（栃木市）

《7月》

- 1日 指定管理4施設受託説明会（組合）
- 9日 ゴルフコンペ（栃木県民ゴルフ場・組合）
- 10日 指定管理者合同運営委員会（組合）
- 14日 正・副会長会議（協会）
- 17日 建設事業関係功労者表彰式（県公館）
- 21日 理事会（協会）
- 31日 宇都宮市入札契約制度改正等説明会

《8月》

- 1日 造園土木施工講習会（最終回）

- 6日 “よみがえれ宇都宮城”市民の会合同委員会
- 10日 指定管理者合同運営委員会（組合）
- 18～19日 平成21年度技能検定（鹿沼市）
- 24日 企画広報委員会『緑風』編集会議

◆平成22年度造園学校入校生を募集

今年度休校した造園学校では、平成22年度の入校生を募集して再開校する予定。事業主の皆さんのご理解とご協力を得て“歴史ある伝統校”存続に向けて努力する方針が決まった。

◆編集後記 来年から『緑風』の発行を年4回（新年号・惜春号・盛夏号・秋麗号）に戻すことが決定した。また、青年部より大橋光明（下野市・竹葉建設）、田崎耕一（下都賀郡壬生町・田崎造園）の両氏が「企画広報委員会」新委員に就任する予定ですが、決まり次第ご報告いたします。（企画広報委員長・五月女和夫）

平成22年度の入校生を募集

栃木県造園高等技術学校

栃木県造園高等技術学校は、職業人として有為な人材の育成とその経済的・社会的地位の向上を図ることを目的に設立されました。今後、自然環境の保全や緑空間の創造の機運はますます高まってきております。次代を担う造園技術者の育成は業界のみならず社会的にも大変重要なことです。また、造園技術は確実に進歩しております。確かな技術と理論的な知識の習得による専門技術者が、これからの造園業界には必要です。造園高等技術学校はその人材を育てます。

■普通訓練

新たに造園業に就いた実務経験の浅い人たちを対象に、造園業の基礎知識・技術を教育訓練する。修業年限は4月から翌年3月までの1年。授業は週一回で午前8時30分から午後4時30分まで。講師は大学・高校の専門の先生、国・県の専門職員。

■授業科目

○庭園概論○植物学概論○生産工学概論○植物病理学○農業薬品○土壌及び肥料○造園土木施工○造園施工○造園管理○測量○安全衛生○栽培概論○造園材料○仕様及び積算○設計及び製図○関係法規○実技・研修

■特典

- ◇造園技能士補の国家資格
(修了時の技能照査合格が条件)
- ◇2級技能検定受検の時の学科試験免除。修了後すぐに受検可能(通常2年)
- ◇2級技能検定合格後2年で1級受検が可能
- ◇修了後6年の実務経験で直接1級技能検定受検可能(通常7年、高校造園科卒業で6年)
- ◇造園科職業訓練指導員の免許取得
技能照査合格者は修了後実務経験6年で指導員48時間講習の受講が可能。

■短期訓練

本校の普通課程修了者あるいは相当程度の経

験技能を持つ者を対象に、さらに技術の向上を図るために行う短期の訓練で、次のようなコースがある(年度により実施課目に変更がある)

- ◇造園土木施工コース
- ◇造園実技コース(造園作業)
- ◇造園実技実習コース(樹木せん定、手入れ作業等)

■資格と手続き

- ◇資格は、高校卒業者またはそれと同等以上の学力を持つ者で、造園科職業訓練指導員のいる事務所で働いている者
- ◇手続きは、本校所定の入学願書に最終学校の卒業証明書及び写真2枚(3cm×4cm)を添えて学校事務局に提出(郵送も可)
- ◇願書締め切りは平成22年3月20日
- ◇募集定員は30名(男女共学)

■選考方法

書類選考により入校の可否を決定。決定後は本人に通知し、入校許可書を交付。

■諸費用(金額は平成20年度当時、若干変更になる場合があります。)

- ◇入校金 40,000円
- ◇授業料 80,000円
- ◇事業主負担金 10,000円
(訓練生1人につき)
- ◇教科書代 約32,000円

確かな造園の技術と知識を学びましょう。